

バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員および研究員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

学会名	シロイヌナズナ国際会議 (ICAR2015/フランス・パリ)
演題名	Gene Expression Analysis of Phytohormone-related Gene After Incision Treatment in Arabidopsis Flowering Stem.
発表者	<u>Keita Matsuoka</u> , <u>Emi Yumoto</u> , Daiki Okugawa※, Naho Saitou※, Yohei Nakahara※, <u>Takao Yokota</u> , <u>Hisakazu Yamane</u> , Shinobu Satoh, <u>○Masashi Asahina</u> (※H26年度卒研生) (植物生理学研究室)
内容	<p>これまでに我々は、シロイヌナズナの花茎を部分的に切断すると、主として髄組織の細胞が切断3日後から細胞分裂を開始し、約7日間で癒合することを報告している。本研究では、シロイヌナズナ花茎を切断した直後から24時間以内に生じる植物ホルモンの内生量と遺伝子発現変化について検討した。その結果、花茎切断に応答して生じる遺伝子発現変化と植物ホルモンの局在変化について、新たな知見を得た。これらの結果はH26年度の卒業研究、及び学内外共同研究によって得られたものであり、私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「植物オキシリピンの生理機能の解明とその応用」、科学研究費補助金（若手B）による支援を受けて行った。</p>
関連画像	